ヨコスカ Discovery ディスカバリー

第2回　新緑の鷹取山と「浦賀みち（ガラメキ）」

鷹取山は横須賀市と逗子市境に位置し、条件が良ければ遠く富士山や東京スカイツリーも望める好展望の低山。今回はひっそりと磨崖仏を山中に訪ね、静かな新緑の尾根道、「浦賀みち」の難所（ガラメキ）を通り京急田浦駅へ抜けてみましょう。
（約5キロ、所要時間：約2.5時間）

歩くときのワンポイントアドバイス

山道の歩き方

歩幅は小さく、息を切らさない程度にゆっくり歩き、かかとをしっかりとつけて足底全体で着地すると、バランスがとれスリップ防止につながります。
そろそろ虫も起き出します。長袖長ズボンで肌を出さないよう工夫しましょう。

鷹取公園

後北条時代、山裾に朝倉能登守の陣屋があったといい、昭和の初め頃には湘南電気鉄道のいちご園で賑わったという。

鷹取山（139メートル）

明治中頃から大正末期まで凝灰岩を切り出したことで石切り場跡が直立した大小の岩峰を形成し、都心に近いクライマーの練習場として知られる。群馬県の妙義山にたとえて「湘南妙義」の別名もある。

ガラメキ

江戸から浦賀奉行所へ続く「浦賀みち」の難所。崖の崩れ落ちる音からこの名がつけられたという。

磨崖仏

昭和37年頃、「弥勒菩薩（4メートル×8メートル）」が前浅間の岸壁に制作された。近くにあった「釈迦如来像」は、小学校建設のため破壊され今はない。

鷹取山公園

あずま屋やトイレがあり、眼下に広がる家並みの先に遠く横須賀の海が霞んでいる。

尾根道

鷹取山配水池から浜見台・田浦方面への配水管が埋設されている静かな散歩道。

協力：横須賀市観光ボランティアガイドの会
本紙「イベントカレンダー」募集コーナーでは、ガイドツアーの情報を掲載しています。　http://yokosuka.kankoh-guide.com/